

自治体職員バージョンアップ研修

～広報・企画・コミュニケーション・地域づくり～

所属・部署に関わらず、全ての自治体職員の業務に活かせるスキルを身につけましょう！
頭スッキリ！楽しくワクワクする研修で、皆様をお待ちしています。

【講師】 NPO法人 Mブリッジ 理事長 米山 哲司氏

講師は米山氏を中心に、テーマによって、Mブリッジの担当スタッフ（濱田昌平氏、澤卓哉氏、池山敦氏など）が登壇します。



《プロフィール 米山 哲司（ヨネヤマ サトシ）》

「善いことが評価されるお手伝いをしたい」。その想いから CSR 推進、自分史サポート、協働事業プランニングなどを行う。ソーシャルビジネス、CSR、NPO を取り上げる全国紙「オルタナ」にページを持ち、県内の善き企業、善き NPO を全国に向け発信する活動もその一環である。また、ワークショップやオリジナル研修ツールの活用など創造的手法を用い、企業やNPOの埋もれた魅力を掘り起こし、新しい価値を生み出す。

それがソーシャルな活動の場合もあれば、心に響くキャッチコピーの場合もある。

“地域の笑顔”か“次世代の元気”のいずれかに繋がるものにしか関与しない。そのプロセスを「正義の企画」と自称する。「その課題は企画と広報で乗り越えられる」を信条とし、共に歩んでいくパートナー、未来のステークホルダーを常に募っている。

【略歴】

1969年11月、三重県尾鷲市生まれ。

専門学校日本ビジネススクール マスコミ企画編集卒業。

NHK 入社。

企画、広報、イベントなどを担当。

企画会社 株式会社WIN 入社。

まちづくりプランニング、広報、アーティスト育成事業などを担当。

チャンネルM 設立。

地域活性化プランニング、人材育成事業などを担当。

地域活性化事業「渚アート展」で、朝日新聞社主催「海とのふれあい賞」を受賞。

《ホームページ》

NPO 法人 M ブリッジ

<http://m-bridge.jp/>

【対象者】 三重県内自治体職員（若手から中堅職員まで）

【参加費】 無料

【申込み】 「自治体名・所属・氏名・連絡先・受講希望日」を、電話・FAX・E-mailにて、三重県地方自治研究センターへご連絡ください。

（このチラシの最終頁に申込用紙があります）

【締切】 各回一週間前まで。定員になり次第、締め切らせていただきます。

【会場】 三重県地方自治労働文化センター4F 大会議室 〒514-0004 津市栄町2-361 津駅から徒歩8分
ご来場の際は、できる限り、公共交通機関をご利用ください。

研修日程および内容

【定員】各回48名（先着順） 【時間】いずれも13:30～16:30

それぞれが独立した内容ですので、単発で受講いただけます。

連続して受講いただくと学びが深まります

【1回目】

7月29日(水)

■■PR基礎・キャッチコピー力■■

「参加者が集まらない」「情報が届かない」のお悩みはありませんか？

広報（PR）は、コミュニケーションです。

まちづくりを住民と行政の協働で行う時代になった今、広報・PR力は、広報課だけでなく、各課の職員に必要な能力です。

この講座では、広報の心得から、相手の心を掴むタイトル付けやキャッチコピー制作のコツをお伝えします。

★この1回目のみ2部構成で実施。

第一部…13:30～16:30「PR基礎・キャッチコピー力」

休憩…16:30～16:45 休憩

第二部…16:45～17:15「Mブリッジの活動紹介」

※第一部のみのご参加も可能

※第二部終了後、懇親会を予定

懇親会に参加希望の方は、申込時に「参加希望」に○をしてください。

懇親会の会費は4千円程度を想定しています。

【2回目】

8月27日(木)

■■事業説明力・共感文章術■■

チラシ、ウェブサイト、Facebookなど情報発信手段が増える中で、発信したい情報、伝えたい想いがきちんと伝わるためにはどうすればいいのでしょうか。

何が伝えたいのかがよく解らない文章には共通の問題点があります。

それらを紐解き、「何を」「どうやって」伝えるかのポイントを押さえるだけで、相手をこちらが期待している反応に導くことができます。

この講座では、共感を生む文章を書くための「説明力」のスキルアップを目指します。

<p>【3回目】</p> <p>10月8日(木)</p>	<p>■■チラシデザイン</p> <p>(「自分がつくる」と「他者がつくる」) ■■</p> <p>簡単なチラシならパソコンでつくれる時代になりました。 しかし、その「デザインの心得」を学ぶ機会は少ないものです。 我流のまま「なんとなく」で制作していませんか？</p> <p>デザインのコツを「自分が」と「他者が」の両方からお伝えします。</p> <p>「自分が」は、デザインの専門ソフトでなくても、魅力的なチラシをつくるコツ。 「他者が」は、デザイナーに発注する場合のよき発注のコツを手に入れてもらいます。</p>
<p>【4回目】</p> <p>10月22日(木)</p>	<p>■■フューチャーセッション</p> <p>(一般市民との対話の場づくり) ■■</p> <p>まちづくりなどのシーンで一般市民とともにアイデア会議を実施することが多くなりました。</p> <p>課題解決や魅力創出に向け、多様な方々とともに対話から協働を生み出す場を「フューチャーセンター」と言い、そのワークショップが「フューチャーセッション」です。</p> <p>この講座では、フューチャーセッションの流れを知ってもらい、初歩的な運営ならば、プログラムを組み立て実施できるようになっていただくことを目指します。</p>
<p>【5回目】</p> <p>11月12日(木)</p>	<p>■■プレゼンテーション能力・自己PR能力■■</p> <p>「人前で話すのが苦手」と思っている人、多いのではないのでしょうか。住民への説明会、課内の会議のプレゼンテーション、交流の場での自己紹介…</p> <p>今、“プレゼン能力”は、日常のさまざまな場面で必要とされています。プレゼンは、一方的に情報を送ることではなく、 「いかに上手くコミュニケーションをとるか」が肝になります。</p> <p>誰もが伝わるプレゼンができるようになる 「解りやすく話を組み立てるコツ」をお伝えします。</p>

<p>【6回目】</p> <p>11月26日(木)</p>	<p>■■プレスリリース・クラウドファンディング■■</p> <p>うまく整ってはいるけれど、何だか物足りない文章ってありませんか？ そんなとき、対象とする相手やその目的を明らかにするだけで、各段と伝わる文章に生まれ変わります。</p> <p>例えば、プレスリリースには、メディアに載るというゴールがあり、クラウドファンディングには、寄付を得るというゴールがあります。</p> <p>この講座では、対象と目的を意識して、 手に入れたい成果を得るための文章の書き分け方をお伝えします。</p>
<p>【7回目】</p> <p>1月21日(木)</p>	<p>■■ポストイット活用術</p> <p>(3Mミーティングソリューション) ■■</p> <p>近年、会議・ワークショップの場でよく使われている「ポストイット」。多様な主体が関わる話し合いの場面で、意見の見える化やアイデア創出を短時間で行うために非常に便利なツールです。 しかしながら、本来の使い方を理解し、有効に活用されている場面は多くありません。</p> <p>この講座では、3Mが提唱するミーティングソリューションに基づきながら、ポストイットの基本的な使い方から代表的な技法まで、日頃の会議の進め方を改善するためのテクニックをお伝えします。</p>
<p>【8回目】</p> <p>2月9日(火)</p>	<p>■■コミュニティビジネス・CSR</p> <p>(企業の企画力を地域づくりへ) ■■</p> <p>地方創生などにより、今改めてコミュニティビジネス（CB）への関心が高まりつつあります。 課題解決に向け、地域資源を活用し、自ずから実施するCBは「担い手づくり」の効果も期待されます。 また、企業がCBに参入するケースも増えてきました。社会貢献・CSRととらえる場合もあります。 企業に対し地域づくりへの関心を持たせることは、行政の役割でもあります。 その視点からCBやCSRの基礎を再確認します。</p>

【9回目】

2月18日(木)

■■コミュニケーション能力（LEGO活用術）■■

例えば、初対面の人同士が集まったとき。
突然の自己紹介で空気が固まってしまった…という経験はありませんか？

そんなときレゴや簡単なゲームを取り入れることで、自然とコミュニケーションが生まれ、和やかな雰囲気を生み出すことができます。

特にレゴは、今年から県内の中学校の英語教育で導入されるなど、多様な活用の可能性をひめています。

地域社会のさまざまな場面で、レゴやゲームを活用し、多様な人とよりよい関係性を築くヒントをお伝えします。

【10回目】

2月25日(木)

■■定住・自立を促進するための

対話を促す新ツール体験会■■

人口減少、少子高齢化が進む時代。地方への定住・自立を促進するには、地域が役割分担をし、連携・協力していくことが必要であり、そのためには多様な主体による対話が不可欠です。

そんなとき、コミュニケーションを促すためのツールがあると、対話を有効に進めることができます。

現在、皇學館大学とMブリッジでは、地方に定住・自立して幸せに暮らしていくための話し合いの場を活性化する新ツールを共同開発しています。

自治会の会合、職員同士の会議、教育の現場などで活用でき、職員はもちろん、地域の人を使うことで、担い手の育成にもつながります。

今回は、プロトタイプ版を体験いただくなかで、皆様の現場での課題などをうかがいながら、さまざまな現場に応じた活用法や効果をお伝えし、解決策を一緒に考えていきます。

三重県地方自治研究センター 宛

自治体職員バージョンアップ研修 参加申込書

氏名		
自治体名		
所属		
電話番号	— —	
日程	内容(タイトル)	参加希望 (○をして ください)
【1回目】7月29日(水)	■■PR基礎・キャッチコピー力■■	
	(1回目のみ)懇親会 ※有料 会費4千円程度予定	
【2回目】8月27日(木)	■■事業説明力・共感文章術■■	
【3回目】10月8日(木)	■■チラシデザイン(「自分がつくる」と「他者がつくる」)■■	
【4回目】10月22日(木)	■■フューチャーセッション(一般市民との対話の場づくり)■■	
【5回目】11月12日(木)	■■プレゼンテーション能力・自己PR能力■■	
【6回目】11月26日(木)	■■プレスリリース・クラウドファンディング■■	
【7回目】1月21日(木)	■■ポストイット活用術(3Mミーティングソリューション)■■	
【8回目】2月9日(火)	■■コミュニティビジネス・CSR(企業の企画力を地域づくりへ)■■	
【9回目】2月18日(木)	■■コミュニケーション能力(LEGO活用術)■■	
【10回目】2月25日(木)	■■定住・自立を促進するための対話を促す新ツール体験会■■	

申込先 三重県地方自治研究センター

〒514-0004

三重県津市栄町2丁目 361 番地

津駅東口より徒歩8分

TEL : 059-227-3298

FAX : 059-227-3116

E-mail : info@mie-jichiken.jp

(担当 : 増田)



※ご来場の際はできるだけ公共交通機関をご利用ください。